

科目名	デザイン研修 1							年度	2025
英語科目名	Design Training 1							学期	通年
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 1年次		必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※
担当教員	加賀 武見			教員の実務経験	有	実務経験の職種	デザイナー		

【科目的目的】

デザイン研修は、デザイナーとしての視野を広げるため行う、短期研修プログラムである。訪問する地域・施設・文化の中で行われる見学や交流プログラム、制作体験などを通じて、言語や地域を越えてのデザインの役割やコミュニケーションの大切さを学ぶことを目的とする。

【科目的概要】

学校・カレッジ・学科が実施計画したデザイン研修内容が発表されたのち、オリエンテーションを実施、その後担任へ参加申込を行うというプロセスを経て、デザイン研修に参加する。研修を行う地域(国)および実施概要は、オリエンテーション時に詳細を伝える。

【到達目標】

- 目標A：事前に研修内容を理解して、調査する
- 目標B：共に行動する引率教員に報告・連絡・相談ができ、仲間と協調して行動する
- 目標C：体験したことを記録し、体験を振り返り報告書を作成する

【授業の注意点】

デザイン研修参加希望を保護者同意の上、決定したら申込締切日までに担任へ申し込むこと。また、終了後は、必ず担任へ報告し、速やかにレポートを提出すること。報告、レポート提出をもって合格とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	研修の事前調査をして、内容を深く理解している		研修の事前調査をして、ある程度内容を理解している		研修の事前調査が完成せず、内容を理解していない
到達目標 B	報告・連絡・相談ができ、仲間と協調して行動できている		出来る範囲で報告・連絡・相談をして、なんか仲間と協調して行動できている		報告・連絡・相談ができない、仲間と協調して行動できていない
到達目標 C	体験したことを記録し、体験を振り返り報告書を作成できた		体験したことを記録しなかったが、体験を振り返り報告書を作成できた		体験したことを記録せず、振り返り報告書も作成できなかった

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要な資料配布があれば、その都度配布。

【成績の評価方法・評価基準】

レポート 60% 授業内容の理解度を確認するために実施する  
平常点 40% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。				
科目名	デザイン研修 1			年度
英語表記	Design Training 1			学期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル
1	事前説明会	準備を整える	1 研修会の全体像を理解	研修会の全体像を理解できた
			2 グループとして活動	グループとして活動目的を理解できた
			3 事前準備	事前準備する内容を理解できた
2	準備1	事前準備	1 研修調査	研修の調査が出来た
			2 グループ役割	グループ内の自分の役割がわかっている
3	準備2	事前準備	1 研修調査	研修の調査をしてまとめられた
			2 準備	持ち物などの事前準備品を理解している
4	準備3	事前準備	1 調査発表	調査した内容をまとめ、発表出来た
			2 グループ役割確認	グループ内の自分の役割を理解している
5	研修1	研修初日	1 グループとして行動	グループとして行動することが出来た
			2 体験したことの議論・共有	体験したことの議論・共有し、体験内容を理解できた
6	研修2	研修2日目	1 グループとして行動	グループとして行動することが出来た
			2 体験したことの議論・共有	体験したことの議論・共有し、体験内容を理解できた
7	研修3	研修3日目	1 グループとして行動	グループとして行動することが出来た
			2 体験したことの議論・共有	体験したことの議論・共有し、体験内容を理解できた
			3 計画の達成	事前に計画した内容を達成できた
8	研修4	研修4日目	1 グループとして行動	グループとして行動することが出来た
			2 体験したことの議論・共有	体験したことの議論・共有し、体験内容を理解できた
			3 計画の達成	事前に計画した内容を達成し、報告書を提出できた
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				